

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 08-308711

(43)Date of publication of application : 26.11.1996

(51)Int.Cl.

A47G 25/12

(21)Application number : 07-141102

(71)Applicant : KAWASAKI JUNZABURO

(22)Date of filing : 15.05.1995

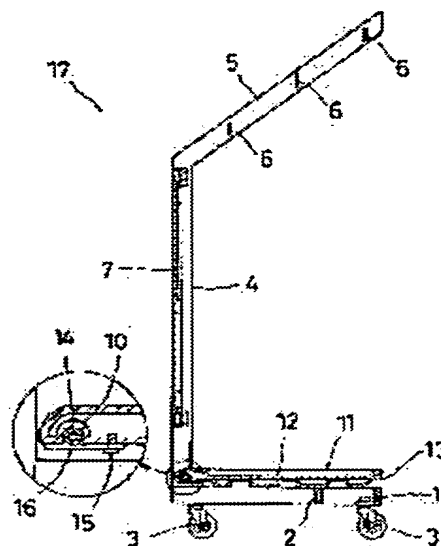
(72)Inventor : SHINOZAKI MITSUTSUGU
KAWASAKI JUNZABURO

(54) UMBRELLA HOUSING STAND

(57)Abstract:

PURPOSE: To house umbrellas in a nesting state at the time of no use by composing the stand of a frame, in which the breadthwise dimension of a top end part is smaller than that of a rear end part, and a tray member which covers the upper part of the frame and turns with the rear end part as a supporting point.

CONSTITUTION: A frame 1 of a housing stand 17 has a contour shape capable of nesting in which the breadthwise dimension of the top end part is smaller than that of the rear end part. A tray member 11 for covering the upper part of the frame 1 is turnably fitted to a tray supporting bar 10 and provided with a main body 12 of the tray member and a slope 13 formed at the lower part of its top end so that the tray member 11 can rise upward at the time of nesting. Besides, this stand is provided with a bar inserting groove 14, to which the tray supporting bar 10 is inserted, formed on the bottom surface of the rear end at the main body 12 of the tray member and two engage pieces 16, which are pivotally supported by pins 15, for attachably and detachably fitting the tray supporting part 10 inserted to the bar inserting groove 14. At the time of no use, the top end part is pushed into the rear part of the front housing stand 17 so that the rear tray member 11 can rise on the front tray member 11 and the nesting state can be provided.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

特開平8-308711

(43) 公開日 平成8年(1996)11月26日

(51) Int. Cl. °

A47G 25/12

識別記号

7361-3K

7361-3K

F I

A47G 25/12

A

Z

審査請求 未請求 請求項の数 2 F D (全6頁)

(21) 出願番号 特願平7-141102

(22) 出願日 平成7年(1995)5月15日

(71) 出願人 000124432

河崎 淳三郎

東京都中央区日本橋浜町2-44-4 河渾
株式会社内

(72) 発明者 篠崎 充嗣

東京都中央区日本橋浜町2-44-4 河渾株
式会社内

(72) 発明者 河崎 淳三郎

東京都中央区日本橋浜町2-44-4 河渾株
式会社内

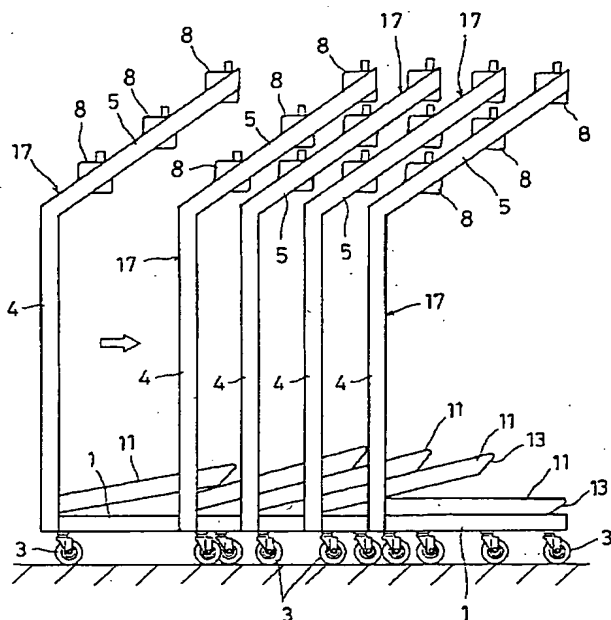
(74) 代理人 弁理士 三浦 光康

(54) 【発明の名称】 傘の収納スタンド

(57) 【要約】

【目的】 本発明は楽に移動させることができるとともに、輸送時や不使用時の保管ではネスティングすることができるとともに、皿部材にたまつた雨水を楽に排出することができる傘の収納スタンドを得るにある。

【構成】 先端部が後端部よりも幅寸法が小さくネスティング可能なフレームと、このフレームの先端部の両側部および後端部の両側部にそれぞれ取付けられたキャスターと、フレームの後端部の両側部に下端部が固定された上方へ突出する一対の支柱と、この一対の支柱の上部にそれぞれ一体形成された先端部方向へ鈍角となるように突出する支持アームと、この支持アームに両端部が取付けられた複数の傘のロック装置を直列接続した複数のロック装置バーと、前記フレームの上部を覆うとともに、後端部を支点として回転する先端下部が傾斜面の皿部材とで傘の収納スタンドを構成している。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 先端部が後端部よりも幅寸法が小さくネスティング可能なフレームと、このフレームの先端部の両側部および後端部の両側部にそれぞれ取付けられたキャスターと、前記フレームの後端部の両側部に下端部が固定された上方へ突出する一対の支柱と、この一対の支柱の上部にそれぞれ一体形成された先端部方向へ鈍角となるように突出する支持アームと、この支持アームに両端部が取付けられた複数の傘のロック装置を直列接続した複数のロック装置バーと、前記フレームの上部を覆うとともに、後端部を支点として回転する先端下部が傾斜面の皿部材とを備えることを特徴とする傘の収納スタンド。

【請求項 2】 先端部が後端部よりも幅寸法が小さくネスティング可能な後部開放の台形状の輪郭形状のフレームと、このフレームの先端部の両側部および後端部にそれぞれ取付けられたキャスターと、前記フレームの後端部に下端部が固定された上方へ突出する一対の支柱と、この一対の支柱の上部にそれぞれ一体形成された先端部方向へ鈍角となるように突出する支持アームと、この支持アームに両端部が取付けられた複数の傘のロック装置を直列接続した複数のロック装置バーと、前記フレームの後端部の上部に位置するように該フレームあるいは前記一対の支柱に固定された皿支持バーと、この皿支持バーに回転可能でかつ着脱可能に取付けられた前記フレームの上部を覆う先端下部が傾斜面の皿部材とを備えることを特徴とする傘の収納スタンド。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は多数個の傘を保管収納することができる傘の収納スタンドに関する。

【0002】

【従来の技術】 従来の傘の収納スタンドは上部が開口した箱状のスタンド本体と、このスタンド本体の上部に複数の傘のロック装置を直列接続したロック装置バーを複数個取付けた構造になっている。

【0003】

【本発明が解決しようとする課題】 従来の傘の収納スタンドはスタンド本体が箱状に形成されているため、輸送時や不使用時に倉庫に保管する場合にスタンド本体の大きさ分のスペースが必要で、効率のよい輸送ができないとともに、大きな保管スペースが必要になるという欠点があった。

【0004】 本発明は以上のような従来の欠点に鑑み、楽に移動させることができるとともに、輸送時や不使用時の保管ではネスティングすることができるように、皿部材に溜った雨水を楽に排出することができる傘の収納スタンドを提供することを目的としている。

【0005】 本発明の前記ならびにそのほかの目的と新規な特徴は次の説明を添付図面と照し合せて読むと、よ

り完全に明らかになるであろう。ただし、図面はもっぱら解説のためのものであって、本発明の範囲を限定するものではない。

【0006】

【課題を解決するための手段】 上記目的を達成するために、本発明は先端部が後端部よりも幅寸法が小さくネスティング可能なフレームと、このフレームの先端部の両側部および後端部の両側部にそれぞれ取付けられたキャスターと、前記フレームの後端部の両側部に下端部が固定された上方へ突出する一対の支柱と、この一対の支柱の上部にそれぞれ一体形成された先端部方向へ鈍角となるように突出する支持アームと、この支持アームに両端部が取付けられた複数の傘のロック装置を直列接続した複数のロック装置バーと、前記フレームの上部を覆うとともに、後端部を支点として回転する先端下部が傾斜面の皿部材とで傘の収納スタンドを構成している。

【0007】

【作用】 上記のように構成された傘の収納スタンドは、先端部を前方に位置する傘の収納スタンドの後部内へ押し込むことにより皿部材が回転し、前方のフレーム内に後方のフレームが入り込むとともに、前方の皿部材上に後方の皿部材が乗り上がり、ネスティング状態となる。

【0008】

【本発明の実施例】 以下、図面に示す実施例により、本発明を詳細に説明する。

【0009】 図 1 ないし図 7 の本発明の第 1 の実施例において、1 は先端部が後端部よりも幅寸法が小さくネスティング可能な後部開放の台形状の輪郭形状のフレームで、このフレーム 1 は角パイプ材を曲げ加工して形成されたものが使用されている。

【0010】 2 は前記フレーム 1 の先端部寄りの内壁面に両端部が溶接固定された補強兼用のストッパー片である。

【0011】 3、3、3、3 は前記フレーム 1 の先端部の両側部および後端部にそれぞれ取付けられたキャスターである。

【0012】 4、4 は前記フレーム 1 の後端部に下端部が溶接等によって固定された上方へ突出する一対の支柱で、この一対の支柱 4、4 の上部にはそれぞれ先端部方向に鈍角となるように突出する支持アーム 5、5 が一体形成されている。

【0013】 6、6 は前記支持アーム 5、5 の対向する部位に固定された、所定間隔で複数本、本実施例では 3 対の取付け片である。

【0014】 7 は前記一対の支柱 4、4 間の下部を除く部位を覆うように該一対の支柱 4、4 に取付けられたカバー板である。

【0015】 8、8、8 は前記 3 対の取付け片 6、6 に両端部がそれぞれ取付けられる 3 個のロック装置バーで、この 3 個のロック装置バー 8、8、8 は複数の傘

のロック装置9を直列接続したものが使用されている。

【0016】10は前記フレーム1の後端部の上部に位置するように前記一对の支柱4、4に固定された皿支持バーである。

【0017】11は前記皿支持バー10に回動可能に取付けられた前記フレーム1の上部を覆う皿部材で、この皿部材11は皿部材本体12と、この皿部材本体12の先端下部に形成されたネスティング時に該皿部材11が上方へ乗り上がるための傾斜面13と、前記皿部材本体12の後端底面に形成された前記皿支持バー10が挿入されるバー挿入溝14と、このバー挿入溝14内に挿入された皿支持バー10を着脱可能に取付けることができるピン15で枢支された2個の係止片16、16とで構成されている。

【0018】上記構成の傘の収納スタンド17は従来と同様に傘のロック装置9に傘18の柄18aをロックさせて使用する。皿部材11に雨水が溜った場合には、2個の係止片16、16を外して取り外して皿部材11を取り出し、雨水を捨てることができる。

【0019】不使用時には倉庫等へ押したり、引張ったりしてキャスター3、3、3、3を回転させて移動させ、前方に位置する傘の収納スタンド17の後部に先端部を押し込むことにより、図7に示すように前方のフレーム1内に後方のフレーム1が入り込むとともに、後方の皿部材11が前方の皿部材11上に乗り上がってネスティング状態となる。なお、輸送時にもネスティング状態にして行なうことにより、効率のよい輸送を行なうことができる。

【0020】

【本発明の異なる実施例】次に図8ないし図12に示す本発明の異なる実施例につき説明する。なお、これらの本発明の異なる実施例の説明に当って、前記本発明の第1の実施例と同一構成部分には同一符号を付して重複する説明を省略する。

【0021】図8ないし図10の本発明の第2の実施例において、前記本発明の第1の実施例と主に異なる点は、皿部材11Aのバー挿入溝14内に皿支持バー10を挿入して該バー挿入溝14の開口部を複数本のビス19を用いて閉塞板20で固定的に覆った点で、このように構成した傘の収納スタンド17Aにしても、前記本発明の第1の実施例と同様な作用効果が得られる。

【0022】図11および図12の本発明の第3の実施例において、前記本発明の第1の実施例と主に異なる点は、支持アーム5、5の先端部間を補強バー21で固定した点で、このように構成した傘の収納スタンド17Bにしても、前記本発明の第1の実施例と同様な作用効果が得られる。

【0023】

【本発明の効果】以上の説明から明らかなように、本発明にあっては次に列挙する効果が得られる。

【0024】(1) 先端部が後端部よりも幅寸法が小さくネスティング可能なフレームと、このフレームの先端部の両側部および後端部の両側部にそれぞれ取付けられたキャスターと、前記フレームの後端部の両側部に下端部が固定された上方へ突出する一对の支柱と、この一对の支柱の上部にそれぞれ一体形成された先端部方向へ鈍角となるように突出する支持アームと、この支持アームに両端部が取付けられた複数の傘のロック装置を直列接続した複数のロック装置バーと、前記フレームの上部を覆うとともに、後端部を支点として回動する先端下部が傾斜面の皿部材とからなるので、従来と同様に使用することができるとともに、不使用時や輸送時に前方に位置するものの後部に先端部を押し込むことにより、内部へ入り込みネスティングすることができる。したがって、小さなスペースに多くを収納保管することができる。とともに、効率よく輸送することができる。

【0025】(2) 前記(1)によって、キャスターによって移動させることができるので、使用する場所への移動や保管場所への移動を楽に気軽に行なうことができる。

【0026】(3) 前記(1)によって、移動が容易になるので、使用時の設置場所を任意に設定することができる。したがって、気軽に使用することができる。

【0027】(4) 前記(1)によって、構造が簡単であるので、安価に製造することができる。

【0028】(5) 請求項2も前記(1)～(4)と同様な効果が得られるとともに、皿部材の着脱が可能で、雨水の排出や清掃作業を容易に行なうことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1の実施例を示す正面図。

【図2】本発明の第1の実施例を示す側面図。

【図3】本発明の第1の実施例を示すロック装置バーを外した状態の正面図。

【図4】本発明の第1の実施例を示すロック装置バーを外した状態の平面図。

【図5】本発明の第1の実施例を示すロック装置バーを外した状態の底面図。

【図6】図3の6-6線に沿う断面図。

【図7】本発明の第1の実施例のネスティング状態の説明図。

【図8】本発明の第2の実施例を示す正面図。

【図9】本発明の第2の実施例を示す底面図。

【図10】本発明の第2の実施例の要部断面図。

【図11】本発明の第3の実施例を示す平面図。

【図12】本発明の第3の実施例を示す断面図。

【符号の説明】

1：フレーム、

2：ストッパー、

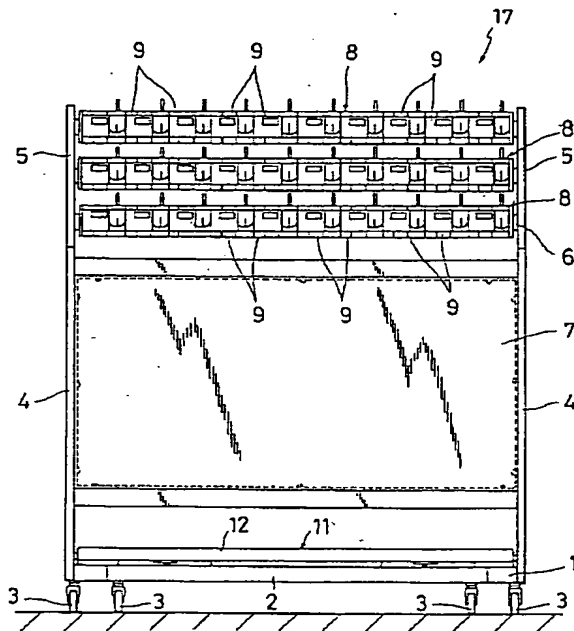
3：キャスター、

4：支柱、

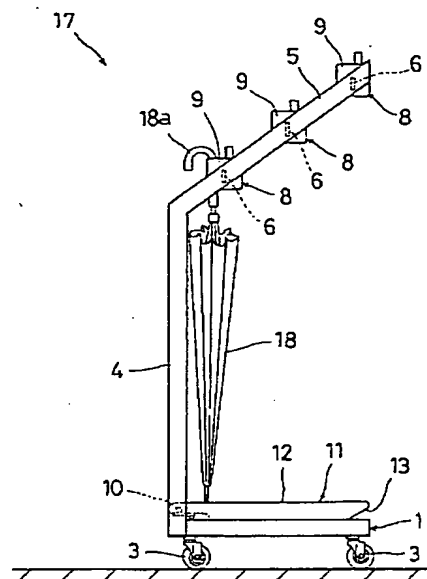
- 5 : 支持アーム、
 6 : 取付け片、
 7 : カバー板、
 8 : ロック装置バー、
 9 : 傘のロック装置、
 10 : 皿支持バー、
 11、11A : 皿部材、
 12 : 皿部材本体、
 13 : 傾斜面、

- 14 : バー挿入溝、
 15 : ビン、
 16 : 係止片、
 17、17A、17B : 傘の収納スタンド、
 18 : 傘、
 19 : ビス、
 20 : 閉塞板、
 21 : 補強バー。

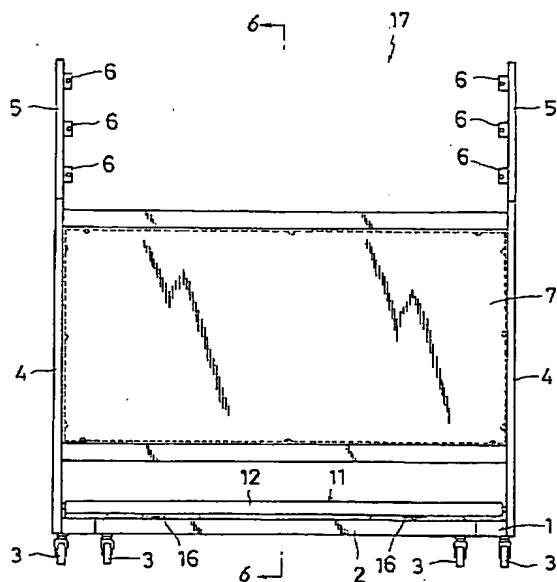
【図1】



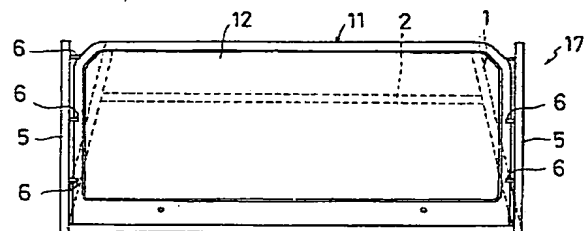
【図2】



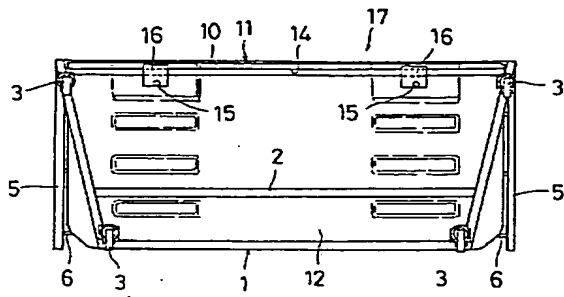
【図3】



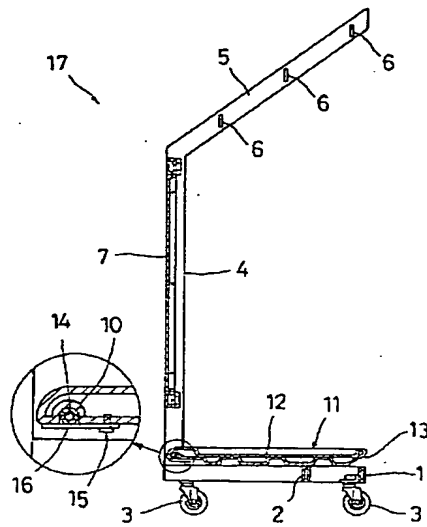
【図4】



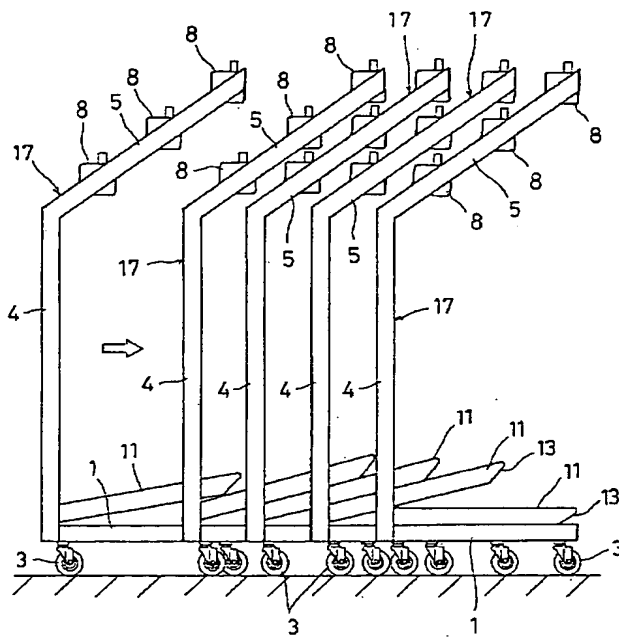
【図5】



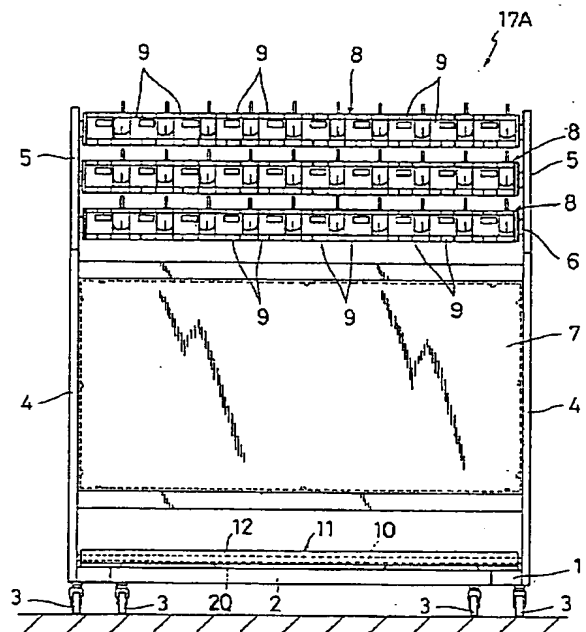
【図6】



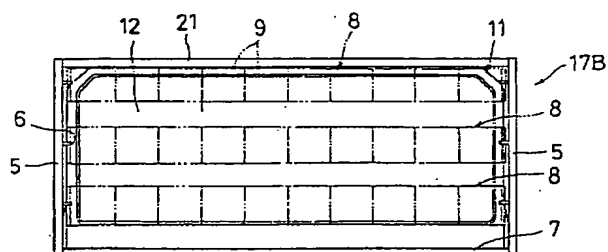
【図7】



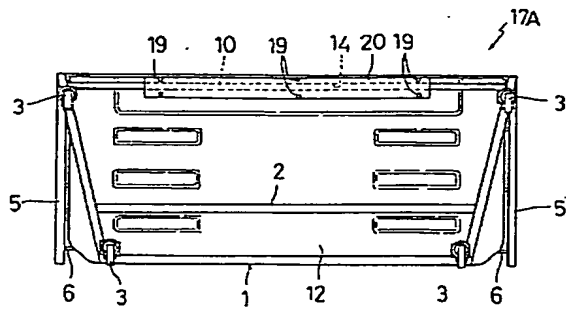
【図8】



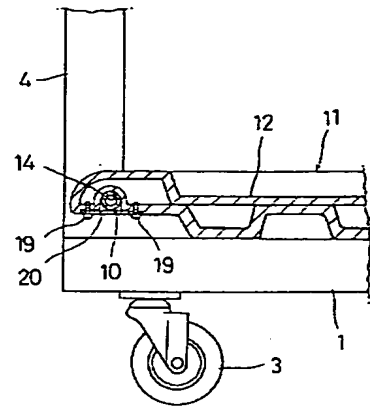
【図11】



【図 9】



【図 10】



【図 12】

